

千里阪急ホテル 宿泊約款

(適用範囲)

第1条 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する条約は、この約物の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。

② 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

(宿泊契約の申込み)

第2条 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。

(1) 宿泊者名

(2) 宿泊日及び到着予定時刻

(3) 宿泊料金(原則として別表①基本宿泊料による。)

(4) その他当ホテルが必要と認める事項

② 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

第3条 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

② 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間(3日を超えるときは3日間)の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。

③ 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。

④ 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するにあたり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

(申込金の支払いを要しないこととする特約)

第4条 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

②宿泊契約の申込みを承諾するにあたり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

(宿泊契約締結の拒否)

第5条 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

(1)宿泊の申込みが、この約款によらないとき。

(2)満室により客室の余裕がないとき。

(3)宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。

(4)宿泊しようとする者が、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」(平成3年法律第77号)による指定暴力団及び指定暴力団員等又はその関係者、その他反社会的勢力(以下「暴力団等」という。)であるとき。

(5)宿泊しようとする者が、暴力団等が事業活動を支配する法人その他の団体又はその構成員であるとき。

(6)宿泊しようとする者が、暴力団等に該当する者が役員となっている法人又はその構成員であるとき。

(7)宿泊しようとする者が、施設もしくは従業員に対し、暴力、脅迫、恐喝、威圧的な不当要求行い、あるいは、合理的範囲を超える負担を要求したとき、又はかつて同様な行為を行ったと認められるとき。

(8)宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。

(9)天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。

(10) 宿泊しようとする者が、他のお客様に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。

(11) 宿泊しようとする者が、泥酔等により、又は著しく不潔な身体又は服装をしているため、他のお客様に迷惑を及ぼすおそれのあるとき。

(宿泊客の契約解除権)

第6条 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。

②当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定

してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。)は、次に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。

(1)一般客は、別表②に掲げるところによります。

(2)団体客は、別表②に掲げるところによります。

③当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後10時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

(当ホテルの契約解除権)

第7条 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。

(1)宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。

(2)宿泊客が、暴力団等であるとき。

(3)宿泊客が、暴力団等が事業活動を支配する法人その他の団体又はその構成員であるとき。

(4)宿泊客が、暴力団等に該当する者が役員となっている法人又はその構成員であるとき。

(5)宿泊客が、施設もしくは従業員に対し、暴力、脅迫、恐喝、威圧的な不当要求を行い、あるいは、合理的範囲を超える負担を要求したとき、又はかつて同様な行為を行ったと認められるとき。

(6)宿泊客が伝染病患者であると明らかに認められるとき。

(7)天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。

(8)宿泊客が、他のお客様に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。

(9)宿泊客が、泥酔等により、又は著しく不潔な身体又は服装をしているため、他のお客様に迷惑を及ぼすおそれのあるとき。

(10) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の遵守事項を守らないとき。

②当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

(宿泊の登録)

第8条 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

(1)宿泊客の氏名、年令、性別、住所及び職業

(2)外国人にあっては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日

(3)出発日及び出発予定時刻

(4)その他当ホテルが必要と認める事項

②外国人の宿泊者に対しまして、当ホテルは旅券の呈示を求め、写しを保存いたします。

③宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

(客室の使用時間)

第9条 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後2時から翌日午前11時までとします。ただし、連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

②当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。

(1)午後3時まで 室料の30%

(2)午後6時まで 室料の50%

(3)午後6時すぎ 室料の全額

(利用規則の遵守)

第10条 宿泊客は、当ホテルにおいては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

(料金の支払い)

第11条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表①に掲げるところによります。

②前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求したとき、当ホテルのフロントにおいて行っていただきます。

③当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

(当ホテルの責任)

第12条 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行にあたり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

②当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

第13条 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

②当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

(寄託物等の取扱い)

第14条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。

②宿泊客が、当ホテル内にお持ち込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。

(宿泊客の手荷物又は携帯の保管)

第15条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、フロントにおいてチェックインする際お渡しします。

②宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間保管し、その後有りの警察署に届けます。

③前2項の場合における宿客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルのは第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。

(駐車場の責任)

第16条 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理にあたり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

(宿泊客の責任)

第17条 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

別表① 宿泊料金等の内訳(第2条第1項および第11条第1項関係)

	内訳	
宿泊客が 支払うべき総額	宿泊料金	①基本宿泊料(室料) ②サービス料(①×10%)
	追加料金	③飲食料(又は追加飲食料) 及びその他の利用料金 ④サービス料(③×10%)
	税金	イ、消費税 ロ、宿泊税

備考 宿泊税は、大阪府の法定外目的税として2017年1月より施行

別表② 違約金

契約を解除の通知を受けた日		不泊	当日	前日	9日前	20日前
契約申込人数						
一般	7名まで	100%	80%	20%	—	—
団体	8名～99名まで	100%	80%	20%	10%	—
	100名以上	100%	100%	80%	20%	10%

注意

1.%は基本宿泊料に対する違約金の比率です。

2.契約日数が短縮した場合には、その短縮日数にかかわらず1日分(初日)の違約金を収受します。

千里阪急ホテル 利用規則

ホテルの公共性と安全性を確保し、かつ快適にご滞在いただくため、当ホテルをご利用のお客様には宿泊約款第10条にもとづいて、下記の規則をおまもりいただくようになっております。

この規則で定められた事項をおまもりいただけないときは、宿泊約款第7条により、やむを得ずご宿泊またはホテル内の諸施設のご利用をお断り申しあげ、かつ第17条により責任をおとりいただくこともございますので特にご留意くださいますようお願い申し上げます。

(火災予防上おまもりいただきたい事項について)

- (1) ホテル内に火器などを持ち込みご使用にならないでください。
- (2) ベッドの中など、火災の原因となりやすい場所でご喫煙なさないでください。
- (3) その他、火災の原因になるような行為をなさないでください。

(保安上おまもりいただきたい事項について)

- (4) ご滞在中、お部屋から出られます際は、施錠をご確認ください。また館外へお出かけの際は、フロントに鍵をお預けくださいますようお願い申し上げます。
- (5) フロントへお預けになりました鍵をお受け取りの際は、必ず宿泊確認書をご提示ください。
- (6) ご在室中や特にご就寝の際は、必ずドアの内鍵とドアチェーンをおかけください。来訪者があったときは、不用意に開扉なさらず、必ずドアスコープをご確認ください。万一、不審者と思われる場合は、お電話でフロントへご連絡ください。
- (7) ご訪問客と客室内でのご面会をご遠慮ください。

(お支払いについて)

- (8) ご宿泊の際、ご到着時にお預り金を申し受けることがございますのでご了承ください。
- (9) ご宿泊中、ご請求申しあげます場合はご面倒ながらそのつどお支払いください。
- (10) お部屋から館外へ電話をお掛けになる場合、施設利用料を加算させていただきますのでご了承ください。

(ご貴重品、お預かり品のお取扱いについて)

(11) ご滞在中の現金、貴重品はフロントにお預けいただきますようお願い申し上げます。

(12) お忘れ物、遺失物の処置は法令にもとづいてお取扱いさせていただきます。

(13) お預り物の保管期間は、原則として下記の通りお取扱いさせていただきます。

クロークルームでのお預り物 7日

お預りのお洗濯物 6ヵ月

(おやめいただきたい行為について)

(14) ホテル内に、他のお客様のご迷惑になるようなものをお持ち込みにならないでください。

(ア)犬、猫、小鳥その他の動物、ペット類

(イ)不潔なもの、悪臭を発するもの

(ウ)はなはだしく多量な物品

(エ)火薬や揮発油など、発火あるいは引火しやすいもの

(オ)適法に所持を許可されていない銃砲、刀剣類など

(15)ホテル内で、とばくや風紀、治安を乱すような行為をなさらないでください。

(16) 高声、放歌や喧噪な行為、またテレビやラジオの音量を大きくするなど、他人に嫌悪感を与えたり迷惑をかけたりなさらないでください。

(17) ホテル内の施設、備品を目的以外の用途に使用なさらないでください。

(18) ホテルの建築物や設備に異物を取りついたり、現状を変更するような加工をなさらないでください。

(19) ホテルの外観を損うような物を窓側に陳列なさらないでください。

(20) 客室やロビーを事務所、営業所など宿泊以外の目的にご使用にならないでください。

(21) ホテル内で、他のお客様に広告、宣伝物を配布したり物品の販売をなさらないでください。

(22) 外来者を室内に入れ、客室内の設備、備品などを使用させないでください。

(23) 廊下やロビーに所持品を放置なさらないでください。

(24) ホテル外から、飲食物の出前をおとりにならないでください。

USE REGULATIONS

to maintain the generality and reliability of the hotel and to assure you a pleasant stay, the Guests of this hotel are requested to observe the following rules in accordance with the "Terms and conditions for Accommodation Contracts, Article 10."

In the case one of these rules is violated by a certain Guest his or her stay and/or utilization of restaurants etc, may be discontinued and also be claimed for responsibility, in accordance with the "Terms and Conditions for Accommodation Contracts, Article 7 and 17."

(FOR FIRE PREVENTION PURPOSE)

- (1) Do not use any burner in the room, lobby or the hall.
- (2) Do not smoke in bed or other places where causes of fire are apt to occur
- (3) Be careful not to do anything apt to become causes of fire.

(FOR SECURITY PURPOSE)

- (4) When leaving the room, make sure the door is closed firmly. Please leave your room key when you go out of the hotel.
- (5) Show your Guest's card when getting your room key.
- (6) Be sure to turn the door-lock and set the safety chain after entering your room or before going to bed.

Confirm your visitor through the door-scope before opening the door.

Immediately contact the front desk in case of any doubtful matters.

- (7) Visitors are not enter the hotel rooms.

Entertain your visitors in the lobby.

(SETTLEMENT OF ACCOUNTS)

- (8) You may be requested for a deposit at the time of check-in.
- (9) Settle your accounts each time a bill of statement is delivered to you.

- (10) A handling fee will be added to your outgoing telephone calls,

(HANDLING OF VALUABLES AND CHECKED ARTICLES)

- (11) Guests are requested to deposit their cash and/or valuables which are available at the front desk.
- (12) Belongings left behind or lost will be handled according to the law.
- (13) Belongings checked or left behind will be kept only for the period as follows:

Belongings left at the cloak room... 7 days

Laundries 6 months

(REFRAIN FROM THE FOLLOWINGS)

- (14) To bring the followings into the room, lobby or the hall
 - (a) Animals, birds, etc.
 - (b) Things unclean or with loathsome smell.
 - (c) Goods of great quantity.
 - (d) Explosive items such as powder, gasoline, etc.
 - (e) Illegally owned guns and swords.
- (15) To gamble or behave in a demoralizing manner in this hotel.

- (16) To give annoyance to the others by making a great noise or disgusting behaviors and turn the television or radio volume high, etc.
- (17) To use the furnitures and fixtures in the room, lobby or the hall for the purpose other than the original object.
- (18) To fix other items to the room or the furnitures, or work up to alter those existing situations.
- (19) To display goods by the window that may spoil the outside view of the hotel.
- (20) To use the room or the lobby as business offices, etc., contrary to lodging purpose.
- (21) To deliver advertising material or sell goods to other guests in this hotel
- (22) To bring visitors into the room and let them use the furnitures and fixtures.
- (23) To leave your belongings in the hall or the lobby.
- (24) To order meals or drinks which must be delivered from outside of the hotel.

(Scope of Application)

Article 1

for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. And any particulars not ally accepted practices. provided for herein shall be governed by laws and regulations and/or generally accepted practices.

2.in the case when the Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

(Application for Accommodation Contracts)

Article 2

A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall

notify the Hotel of the following particulars:

(1) Name of the Guest(s):

(2) Date of accommodation and estimated time of arrival:

(3) Accommodation Charges (based in principle, on the Basic Accommodation Charge listed in the Attached Table).

(4) Other particulars deemed necessary by the Hotel

2. In the case when the Guest requests, during his stay, extension of the accommodation beyond the date in subparagraph (2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

(Conclusion of Accommodation Contracts, etc.)

Article 3

A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply where it has been proved that the Hotel has not accepted the application.

2. When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel

3. The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly for the cancellation charges under Article 6 and thirdly for the reparations under Article

18 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.

4. When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid.

However, the same shall apply only in the case

where the Guest is thus informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is specified.

(Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit)

Article 4

Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.

2. In the case when the Hotel has not requested the payment of the deposit as stipulated in

Paragraph 2 of the preceding Article and has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted it shall be treated as that the Hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

(Refusal of Accommodation Contract)

Article 5

The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following cases:

(1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions

(2) When the Hotel is fully booked and no room is available:

(3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his accommodation;

(4) When the Guest seeking accommodation is a member of an organized crime group, or is involved

with an organized crime group or antisocial force (hereinafter referred to as 'organized crime

group") under the provision of the Law Concerning Prevention of Unjust Acts by Organized

Crime Group Members (Law No. 77 of 1991).

(5) When the Guest seeking accommodation is a member of a corporate body or other group whose business is governed by an organized crime group or similar group

(6) When the Guest seeking accommodation operates or is a member of a corporate body whose board members belong to a group that is deemed an organized crime group or similar group

(7) When the Guest seeking accommodation commits unjust acts such as violence, intimidation

extortion, or other threatening acts to the Hotel facilities or employees, or requests the Hotel to

assume an unreasonable burden in regard to their accommodation, or has behaved similarly in

the past.

(8) When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease:

(9) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, disfunction of the facilities and/or other unavoidable causes:

(10) When the Guest seeking accommodation uses excessively troublesome, abusive, impolite, or antagonistic language or causes serious inconvenience to other Hotel guests.

(11) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct themselves in a manner that will cause inconvenience to other Hotel guests through being drunk, or excessively dirty or unhygienic in terms of body or dress.

(Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest)

Article 6

The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the Hotel

2. In the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment), the Guest shall pay cancellation charges as follows. However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of the payment of the cancellation charges in case of cancellation by the Guests.

(1) Ordinary Guests is as listed in the Cancellation Charge for Hotels

(2) Group Guests is as listed in the Cancellation Charge for Hotels.

3. In the case when the Guest does not appear by 10 P.M. of the accommodation date (2 hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified of it) without an advance notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

(Right to Cancel Accommodation Contracts by the Hotel)

Article 7

The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following cases:

(1) When the Guest is deemed liable to conduct and/or have conducted himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order and good morals in regard to his accommodation;

(2) When the Guest is a member of an organized crime group or similar groups.

(3) When the Guest is a member of a corporate body or other groups whose business is governed by an organized crime group or similar groups.

(4) When the Guest operates or is a member of a corporate body whose board member belongs to a group that is deemed an organized crime group or similar groups.

(5) When the Guest commits unjust acts such as violence, intimidation, extortion, or other threatening acts to Hotel facilities or employees, or requests the Hotel to assume an unreasonable burden in regard to their accommodation, or has behaved similarly in the past.

(6) When the Guest can clearly detected as carrying an infectious disease;

- (7) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and/or other causes of force majeure;
- (8) When the Guest uses excessively troublesome, abusive, impolite, or antagonistic language or causes serious inconvenience to other Hotel guests.
- (9) When the Guest is deemed liable to conduct himself in a manner that will cause inconvenience to other Hotel guests through being drunk, or excessively dirty or unhygienic in terms of body or dress.
- (10) When the Guest engages in actions such as smoking in bed, interfering with fire-fighting facilities, and other rules prohibited by the Use Regulations stipulated by the Hotel

2. In the case when the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any of the services in the future during the contractual period which he has not received.

(Registration)

Article 8

The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of accommodation

- (1) Name, age, sex, address and occupation of the Guest(s);
- (2) In the case of a foreigner, his nationality, passport number, port and date of entry in Japan
- (3) Date and estimated time of departure; and
- (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.

2. All non-Japanese guests who are not residents of Japan must show their passports for identification in accordance with a Japanese Government instruction. The Hotel is required to maintain copies

3. In the case when the Guest intends to pay his Accommodation Charges prescribed in Article 12

by any means other than Japanese currency, such as traveler's cheques, coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph

(Occupancy Hours of Guest Rooms)

Article 9

The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Home from 2 pm to 11:00 am the

next day. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.

2. The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows;

EXTRA CHARGE

- (1) Up to 3:00 PM -----30% of the room charge
- (2) Up to 6:00 PM ---- --50% //
- (3) After 6:00 PM ----- 100% //

(Observance of Use Regulations)

Article 10

The Guest shall observe the Use Regulations established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

(Payment of Accommodation Charge)

Article 11

The breakdown of the Accommodation Charges, etc. that the Guest shall pay is as listed in the Attached Table.

2. Accommodation Charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid with Japanese currency or by any means other than Japanese currency such as traveler's cheques, coupons or credit cards recognized by the Hotel at the front desk at the time of the departure of the Guest or upon request by the Hotel.

3. Accommodation Charges shall be paid even if the guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for him by the Hotel and are at this disposal

(Liabilities of the Hotel)

Article 12

The Hotel shall compensate the Guest for the damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and/or related

agreements. However, the same shall not apply in case where such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable

2. Even though the Hotel is covered by the Hotel Liability Insurance in order to deal with unexpected fire and/or other disasters.

(Handling when unable to provide Contracted Rooms)

Article 13

The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.

2. When arrangement of other accommodation cannot be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the guest a compensation fee equivalent to the penalty for breach of contract and the compensation fee shall be applied to the reparations

However, when the Hotel cannot provide accommodation due to causes for which the Hotel is not liable, the Hotel shall not compensate the Guest.

(Handling of Deposited Articles)

Article 14

The Hotel shall compensate the guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused to the goods, cash or valuables deposited at the front desk by the Guest, except in the case when this has occurred due to causes of force majeure.

2. The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused through intention or negligence on the part of the Hotel, to the goods, cash or valuables which are brought into the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at the front desk.

(Custody of Baggage and belongings of the Guest)

Article 15

When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before his arrival, the Hotel shall be liable to keep it only in the case when such a request has been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of his check-in.

2. When the baggage or belongings of the Guest is found left after his check-out, and the ownership of the article is confirmed, the Hotel shall inform the owner of the article left and ask for further instructions. When no instruction is given to the Hotel by the owner or when the ownership is not confirmed, the Hotel shall keep the article for 7 days including the day it is found, and after this period, the Hotel shall turn it over to the nearest police station.

3. The Hotel's liability in regard to the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the preceding Article in the case of Paragraph 1, and with the provisions of paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.

(Liability in Regard to Parking)

Article 16

The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited to the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for the damage caused through intention or negligence on the part of the Hotel in regard to the management of the parking lot.

(Liability of the Guest)

Article 17

The Guest shall compensate the Hotel for the damage caused through intention or negligence on the part of the Guest.

Attached Table Breakdown for Accommodation Charges, etc.

(Ref. Paragraph 1 of Article 2 and Paragraph 1 of Article 11)

	Breakdown	
Total Amount to be paid by the Guest	Accommodation Charges	(1) Basic Accommodation Charge (Room Rate) (2) Service Charge ((1) X 10%)
	Extra Charges	(3) Meal and Drink Charges (or additional Meal and Drink Charges) in addition to any other usage Charges that may be incurred (4) Service Charge ((3)x10%)
	Tax	A. Consumption Tax B. Accommodation Tax

Note: The accommodation tax will be imposed from January 2017 as mandated by Osaka Prefecture authorities.

Cancellation Charge for Hotels (Ref. Paragraph 2 of Article 6)

Date When Cancellation of Contract is Notified		No show	Accommodation Day	1Day Prior to Accommodation Day	9 Days Prior to Accommodation Day	20 Days Prior to Accommodation Day
Contracted Number of Guests						
Individual	1 to 7	100%	80%	20%	—	—
Group	8 to 99	100%	80%	20%	10%	—
	100 and more	100%	100%	80%	20%	10%

Remarks:

1. The percentages signify the rate of cancellation charge to the Basic Accommodation Charges.
2. When the number of days contracted is shortened, a cancellation charge for its first day shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.